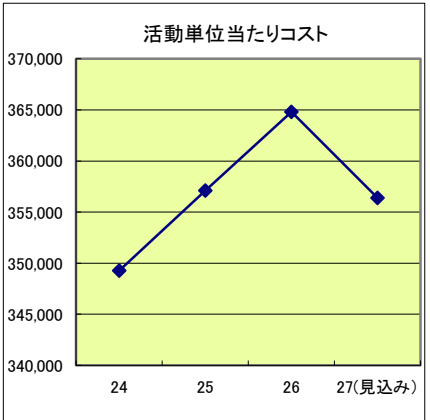


事務事業名			総合スポーツセンター管理運営業務		予算科目	会計	1	一般会計	
						款	10	教育費	
						項	6	保健体育費	
						目	3	体育施設管理運営費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち		事業	1	総合スポーツセンター管理運営業務		
	施策(節)	4	市民スポーツ・レクリエーション			作成部署	教育委員会事務局生涯学習室スポーツ振興課		
	施策の方向	(3)	施設の有効活用と効率的な管理運営						
関連する計画等					(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 4410			
事業の概要(目的・内容)			総合スポーツセンター（はびきのコロセアム）を有効活用し、市民を始めとする利用者の競技スポーツ・生涯スポーツ・生涯学習の場として提供する。また、羽曳野市地域防災計画において福祉避難所に指定されており、有効的な管理が求められている。また、羽曳野市体育協会加盟の各種団体等と連携し、全国規模の大会を実施し、知名度のアップを図っていく。総合スポーツセンターは平成9年10月に竣工し、なみはや国体のウェイトリフティング会場としてスタートした。当初は市直営で運営していたが、平成18年度より指定管理制度を導入し、管理運営業務については指定管理者が行っている。						
根拠法令等			スポーツ基本法・羽曳野市総合スポーツセンター条例・同施行規則						
事業期間			☒ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☐ 5年未満（平成 年度開始）						
事業開始時からの状況変化			経年劣化による修繕箇所が多くあり、多額の予算が必要。						
実施手法			☐ 直営 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先			☒ 市外郭団体委託 名称(羽曳野市施設管理公社)		委託内容	施設の管理運営業務			
			☐ 民間委託 ☐ その他						

区 分		24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		122,974	121,616	128,495	125,790
人件費【2】 (千円)		2,415	6,585	2,471	2,153
職員数	正規職員	0.35 人	0.90 人	0.30 人	0.30 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.15 人	0.15 人	0.00 人
	臨時職員・非常勤職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
超過勤務(参考) (時間)		時間	時間	時間	時間
総事業費(【1】+【2】) 【A】 (千円)		125,389	128,201	130,966	127,943
財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0	0
	府支出金 (千円)	0	0	0	0
	市債 (千円)	0	0	0	0
	その他 (使用料・手数料等) (千円)	4,199	5,798	7,071	5,500
	一般財源 【B】 (千円)	121,190	122,403	123,895	122,443
活 動 指 標 【C】		24年度	25年度	26年度	27年度
(事業の活動実績) 単位					(見込み)
① 開館日数	日	359	359	359	359
② スポーツ教室	教室	11	11	11	11
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)		349,273 円	357,106 円	364,806 円	356,388 円
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】①)		337,577 円	340,955 円	345,110 円	341,068 円
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)		1,071 円	1,100 円	1,134 円	1,116 円
一般財源【B】の推移(前年度比)			1.0 %	1.2 %	▲ 1.2 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ✓)		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☐ 2. 左記			
※該当項目すべてに✓		☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫			
		☐ 5. その他(			



成果指標 (事業の達成度)	指標名		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	①	総合スポーツセンターの利用者数	人	目標 400,000	400,000	400,000	達成率(%) 400,000
	(式又は説明)			実績 372,451	371,371	375,960	94.0%
	②			目標			達成率(%)
	(式又は説明)			実績			

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
	○	○				○	○		○	

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	羽曳野市の屋内スポーツの拠点施設として、無くてはならない施設である。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	指定管理者である一般財団法人羽曳野市施設管理公社と連携協力し、施設の効率的な運営方法を検討し、事業費の削減及び使用率の向上に積極的に取り組んでいる。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☐	☐	☒	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	施設利用者及び施設周辺町会の代表者と懇談会を実施しており、意見等も頂き施設管理や事業に反映させている。
	有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☒	☐	市民参加型の事業を多く展開し、市民を始めとする多くの方々にご利用頂きたい。
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	平日の事業誘致を行う必要がある。

担当部局評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 (概ね現行どおり継続して実施) (実施方法の改善を検討する) (事業規模の縮小を検討する) (廃止・休止を検討する)	
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)	
	空調機器等の施設の修繕箇所が多く、利用者の皆さんにご迷惑をおかけする部分も多く出てきていることから、多くの予算が必要。施設の使用については各種団体等と協議を進め、円滑に進めていく。	
行革本部評価	総合評価	評価理由・意見
	☐ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止	